

U-12サッカーリーグ in 熊本県 実施要項

- ★登録全選手に試合出場機会を保証すること。
★指導者が試合の結果にこだわることなく、選手育成のためにさまざまなチャレンジができること。
この2点を重点を置いたリーグ戦を実施する。

1 リーグ名称 “U-12サッカーリーグ in 熊本県” 市区郡町村/××ブロック

2 主催 財団法人日本サッカー協会、社団法人熊本県サッカー協会

3 主管 実施市区郡町村サッカー協会

※各リーグ毎に、参加全チームによる実施委員会を季節リーグ実施前に組織し、共同運営を行う。
※各リーグ実施委員長は、各季節リーグ実施前の実施委員会で組合せ、日程、会場、等を確認し、「エントリー表兼メンバー表」を受け付ける。

4 特別協賛 全労災（全国労働者共済生活協同組合連合会）

5 協賛

6 エリアスポンサー（注1）下記をご参照ください。※エリアスポンサーは県・地域規模を想定

注1・市区町村FA独自の事業「協賛」について

下記の商品又は業種（カテゴリー）と競合しない企業／団体に関しては、各都道府県、市区町村FA独自の事業「協賛」を獲得することが可能です。
既存の協賛団体がある場合は事前にJFAまでお問合わせ下さい。

●スポンサー獲得対象外商品（カテゴリー）

(1) 飲料
(2) 健康食品（栄養補助食品等含む）

●スポンサー獲得自粛業種（カテゴリー）

(1) アルコール
(2)

7 後援

・大会実施にあたり、地元自治体・地元教育委員会等の協力（会場使用料の減免、大会告知等）を頂ける場合や地元新聞社及び地元放送局については、それらの組織・団体を「後援」として頂いて結構です。

8 参加資格

- ・日本サッカー協会第4種に登録されたチームであり、同じく個人登録をしている者。（要選手証）
- ・選手は傷害保険（スポーツ安全傷害保険など）に加入し、保護者の承諾を得た者。
- ・当該年度の全日本少年サッカー大会へ参加するチームは必ずこのリーグに参加すること。

9 チームの編成と条件

- ・U10、U11、U12全て8人制で実施。原則1チーム30名以内。
- ・控え選手を少なくするために、試合実施人数にあわせて1登録チームを分割（複数）エントリー可。
- ・チームは、原則として1名以上の指導者と1名の有資格（4級以上）の帯同審判員をつけること。（兼任で可）

10 リーグ戦実施形態

・原則として熊本県内16地区程度の生活圏内でリーグを組織し、U-10～12を継続実施する。（但し、地域の実情に応じて柔軟に対応可）

・県内5支部毎に、原則として5チームずつの生活圏内リーグを登録チーム数に合わせて編成する。

・複数エントリーを推奨し、各生活圏内リーグの参加チーム数が5の倍数になるようにする。

（リーグ戦の複数エントリーのチーム内での編成は、ステージ毎にチーム内で入れ替え可能。

・年度途中からの新規チームの参入は原則として認めない。

（各生活圏内リーグで参加チーム数の調整が可能な場合は認めることもある。）

・原則として5チームリーグ（×数リーグ）を1ステージとして、5月～9月までに最低4ステージ実施する。

（1ステージに各チーム4試合消化×4ステージ＝年間16試合消化）

・1ステージは、原則として実施月の第1土曜日と第3土曜日に分けて、各チーム2試合ずつ（計4試合）消化。

※下記実施例を参照（JFAの方針による→1日で2試合まで、土日連戦の場合は1日1試合ずつ）

・1ステージ終了後に、上位リーグ下位2チームと下位リーグ上位2チームを入れ替えて次ステージを実施する。

・年度当初のスタート時のリーグ編成は、新人戦等の結果を反映させて、各生活圏内リーグで決定する。

・10月に順位決定戦（入れ替え対象チームのみ）を行い、年間最終順位を確定する。また、最上位リーグ

1・2・3位 および最下位リーグ3・4・5位、その他中位リーグ3位チームによる交流戦（順位無

関係）を行う。

11 競技規則

・日本サッカー協会現行競技規則によるが、細則については、本大会実施委員会で決定する。

①競技場 60m～68m×40m～50m

②選手の交代

・選手の交代は、登録された交代要員とし、自由な交代とする。

・交代カードは必要なし。参加選手全員に出場機会を保証するように努めること。

③試合形式と時間 ※下記16.の具体的な実施形態を参照。

④順位の決定

・ディビジョンリーグ戦の順位は、勝ち点制とする。（勝ち3点 引き分け1点 負け0点）

・勝ち点と同じ場合は、次の順序で上位を決定する。（当該チームの戦績、得失点差、総得点、抽選）

⑤試合球

・4号検定球を使用する。（持ち寄り）

⑥ユニフォーム・シューズ（ユニフォームは、コイントスで決める）

・原則として正副2組のユニフォームを準備しておく。但し、やむを得ない場合はビズのみでも可。（JFAユニフォーム規定は適用されない。）

・シューズの金属・交換式ポイント等危険と思われる物は、禁止する。すねあては、必ず着用すること。

⑦棄権等について

・定められた時間より5分経過してもゲームができない場合は、その試合を棄権とみなす。

・対戦相手が棄権の場合は3-0の勝ち（勝ち点3点）、また双方棄権の場合は0-0の引き分け（但し、勝ち点も0点）となる。

⑧選手の警告・退場

・選手の警告・退場等については、審判部申し合わせ事項による。特別な場合は規律委員会で検討する。

12 審判

・1人審判制。審判は全試合、各チーム帯同審判（4級以上）で行う。審判割当ては、各リーグ毎に定める。

13 表彰

・各リーグ毎に定める。

14 その他

・事故や傷害については、当該チーム加入保険で処理すること。

・大会参加費は、各リーグ毎に定める。（各リーグ内で収支報告を行う。）

・各リーグ実施委員長は、季節毎のリーグの結果をとりまとめて、下記大会事務局（県協会）へ提出すること。

15 大会事務局（県協会）

（一社）熊本県サッカー協会 4種委員 リーグ担当 中山 嘉史
Eメール nakayamaafc342@yahoo.co.jp
携帯 090-6632-2279

16 具体的な実施形態（実施時期、会場数、試合順、時間など）※別シート参照

U-12サッカーリーグin熊本県 実施について

【熊本県の実施基本形態】

- ・県内5支部毎に、原則として5チームずつの生活圏内リーグを登録チーム数に合わせて編成する。
- 主催 財団法人日本サッカー協会、社団法人熊本県サッカー協会
(リーグ戦の複数エントリーのチーム内での編成は、ステージ毎にチーム内で入れ替え可能。
但し、全日本少年大会のエントリーは、別途大会前に編成する。)
- ・年度途中からの新規チームの参入は原則として認めない。
(各生活圏内リーグで参加チーム数の調整が可能な場合は認めることもある。)
- ・原則として5チームリーグ(×数リーグ)を1ステージとして、5月～9月までに最低4ステージ実施する。
(1ステージに各チーム4試合消化×4ステージ=年間16試合消化)
- ・1ステージは、原則として実施月の第1土曜日と第3土曜日に分けて、各チーム2試合ずつ(計4試合)消化。
※下記実施例を参照(JFAの方針による→1日で2試合まで、土日連戦の場合は1日1試合ずつ)
- ・1ステージ終了後に、上位リーグ下位2チームと下位リーグ上位2チームを入れ替えて次ステージを実施する。
- ・**年度当初のスタート時のリーグ編成は、新人戦等の結果を反映させて、各生活圏内リーグで決定する。**
- ・10月に順位決定戦(入れ替え対象チームのみ)を行い、年間最終順位を確定する。また、最上位リーグ1・2・3位 および最下位リーグ3・4・5位、その他中位リーグ3位チームによる交流戦(順位無関係)を行う。
- ・8人制で実施。(JFA8人制競技規則による。)
- ・**試合時間は、15分-3分-15分**
- ・1人審判制。(各チーム帯同審判による。)
- * 審判は、一人制で対戦チーム相互(前後半で交代)で担当する。

【実施例】

	A	B	C	D	E
A		①	⑥	⑨	③
B	①		④	⑦	⑩
C	⑥	④		②	⑧
D	⑨	⑦	②		⑤
E	③	⑩	⑧	⑤	

	第1土曜日	第3土曜日
9:30	①A-B	⑥A-C
10:10	②C-D	⑦B-D
10:50	③A-E	⑧C-E
11:30	④B-C	⑨A-D
12:10	⑤D-E	⑩B-E

- ※県内5支部及び各地区、合同地区内で、生活圏内リーグを編成する。
- ※生活圏内リーグ=5チームリーグ×数リーグ →チーム数に応じて5の倍数で編成する。

【編成例】 ※地域の実情により5の倍数で編成する。

県北支部→荒尾・玉名・鹿本リーグⅠ・Ⅱ、菊阿支部→菊池Ⅰ・Ⅱリーグ、阿蘇リーグ、熊本市支部→熊本市Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳリーグ、県央支部→上益城リーグ、宇土・宇城・下益城リーグⅠ・Ⅱ、天草リーグ、
県南支部→八代Ⅰ・Ⅱリーグ、水俣芦北リーグ、人吉球磨リーグ

- ※上位リーグ下位2チームと下位リーグ上位2チームを、次ステージは入れ替えて実施する。
- ※10月に前ステージの結果を受けて入れ替え対象となったチームの順位決定戦を行い年間最終順位を確定する。
(前ステージの 上位リーグ4位×下位リーグ2位 / 上位リーグ5位×下位リーグ1位)
また、最上位リーグ1・2・3位および最下位リーグ3・4・5位、その他中位リーグ3位チームによる交流戦(順位無関係)を行う。